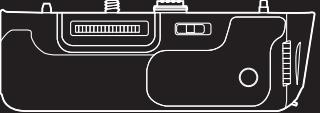


Panasonic

取扱説明書 バッテリーグリップ

品番 DMW-BGGH3

LUMIX



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(裏面)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書付き

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号
© Panasonic Corporation 2012

VQT4M28
F1012KD0

Panasonic バッテリーグリップ保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品番	DMW-BGGH3
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間
*お買い上げ日	年 月 日
*お客様	ご住所 お名前 電話 () —
*販売店	住所・販売店名 電話 () —

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号 TEL (06) 6908-1551

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しください。

まずお読みください

- 本機は、パナソニック製デジタルカメラ DMC-GH3 専用です。(2012年10月現在) 最新の対応機種に関しては、デジタルカメラの取扱説明書、カタログもしくはホームページなどをご覧ください。
- 縦撮影時の操作性やホールド感が向上します。バッテリーパック*(別売:DMW-BLF19)を装着しデジタルカメラ側のバッテリーと合わせて、長時間撮影することができます。(※以降は、「バッテリー」と表記)
- **本機の取り扱いについて**
- 本機は、防塵防滴に配慮した構造となっていますが、ほこりや水滴の浸入を完全に防ぐものではありません。ご使用の際は、以下のことをお気をつけください。正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。
 - ・本機の取り付け、取り外しの際は、端子部、デジタルカメラおよび本機の内部へ砂やほこり、水滴などが付着、侵入しないようにお気をつけください。
 - ・本機は防水構造ではありませんので、水中撮影はできません。防滴については、水の侵入を軽減する構造を採用していますので、水滴などの液体が付いた場合は、使用後に乾いた柔らかい布でふいてください。
 - ・本機に強い振動や衝撃を与えないでください。誤動作や故障につながります。
 - ・デジタルカメラ本体の取扱説明書も併せてお読みください。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

付属品

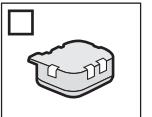
[包装を開けたときの確認]

包装箱から取り出すときに、本体、付属品がすべて入っているか、また本体、付属品の外見や機能面に流通、輸送過程での損傷がないかを確認してください。
異常が発見された場合は、ご使用前にお買い上げの販売店にご連絡ください。

付属品をご確認ください。
記載の品番は2012年10月現在のものです。

変更されることがあります。

接点端子キャップ
VGQ1G71



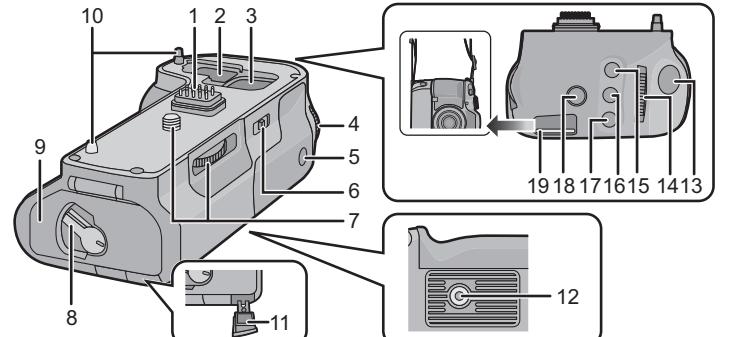
お買い上げ時、接点端子キャップは、バッテリーグリップに装着されています。
● 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理してください。
● バッテリーは別売です。

CLUB Panasonic
Pana Sense



付属品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。
<http://club.panasonic.jp/mall/sense/>
携帯電話からもお買い求めいただけます。
<http://p-mp.jp/cpm/>

各部の名前



- | | |
|-------------------|--|
| 1 電源信号接点部 | 12 三脚取り付け部 |
| 2 接点カバー収納部 | 13 シャッターボタン |
| 3 接点端子キャップ収納部 | 14 前ダイヤル |
| 4 後ダイヤル | 15 [WB](ホワイトバランス)ボタン |
| 5 [AF/AE LOCK]ボタン | 16 [ISO](ISO 感度)ボタン |
| 6 操作 ON/OFF スイッチ | 17 [](露出補正)ボタン |
| 7 取り付けねじ | 18 [Fn] ボタン |
| 8 開閉レバー | 19 ストラップ取り付け用ホルダー |
| 9 バッテリー扉 | ● 落下防止のため、デジタルカメラ本体に付属のショルダーストラップを取り付けてご使用いただくことをお勧めします。(取り付け方は、デジタルカメラの取扱説明書をお読みください) |
| 10 カメラ取り付け用ピン | ● バッテリーグリップ側のバッテリーを使用している時、バッテリーを取り出さないでください。(デジタルカメラの電源が切れてしまします) |
| 11 DC カプラーフィ | |

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号 TEL (06) 6908-1551

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しください。

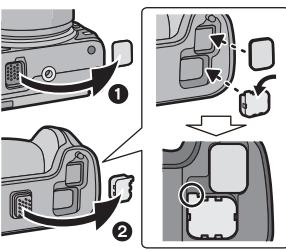
デジタルカメラに取り付ける・取り外す

- デジタルカメラの電源が入っていないことを確認してください。(電源が入ったまま取り付けたり、取り外したりすると故障の原因になります)

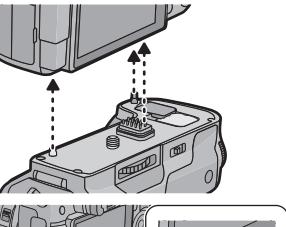
1 ① デジタルカメラの接点カバーを外す

2 バッテリーグリップの電源信号接点部の接点端子キャップを外す

- 接点カバーと接点端子キャップをバッテリーグリップの各収納部に収納することができます。(接点端子キャップは、向きに気をつけて収納してください)
- 使用後は接点部保護のため、それぞれの位置に戻してください。



2 取り付けねじ、電源信号接点部、カメラ取り付け用ピンが合うようにめ込む



3 取り付けねじを矢印の方向に回して、しっかりと固定する

- 使用中、取り付けねじが緩んでいないことを確認してください。



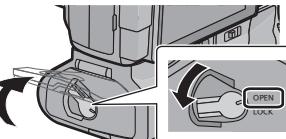
■ バッテリーグリップをデジタルカメラから取り外す

- デジタルカメラの電源が入っていないことを確認し、取り付けねじを取り付け方向と逆に回して取り外してください。

バッテリーを入れる・取り出す

- バッテリーグリップで使えるバッテリーは DMW-BLF19 です。
- バッテリーは、必ず専用のチャージャーで充電してからお使いください。
- バッテリーグリップは、デジタルカメラまたはバッテリーグリップのいずれかにバッテリーが入っていれば使用できます。
- デジタルカメラの電源が入っていないことを確認してください。

1 バッテリーグリップの開閉レバーを矢印の方向(OPEN側)に回して、バッテリー扉を開く



2 向きに気をつけて、ロック音がするまで確実に奥まで挿入し、バッテリーに①のレバーがかかるていることを確認する

- バッテリーが確実にロックされていることを確認してください。
- 取り出すときは、①のレバーを矢印の方向に引いて取り出してください。



3 バッテリー扉を閉じて、開閉レバーを矢印の方向(LOCK側)に回す



お知らせ

- 使用後は、バッテリーを取り出しておいてください。(長期間放置すると、バッテリーは消耗します)
- 使用後や充電中、充電直後などはバッテリーが温かくなっています。また使用中はバッテリーグリップも温かくなりますが、異常ではありません。
- バッテリー扉に異物が付着していないことを確認してください。

■ バッテリーを2個使う

デジタルカメラとバッテリーグリップの両方にバッテリーを入れると、長時間使用することができます。(一方のバッテリーがなくなると、自動的にもう一方に切り替わります)

- 優先的に使用するバッテリーを、デジタルカメラ側で設定することができます。

詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書をお読みください。

お知らせ

- バッテリーグリップ側のバッテリーを使用している時、バッテリーを取り出さないでください。(デジタルカメラの電源が切れてしまします)

- バッテリーの代わりにACアダプター(別売)およびDCカブラー(別売)を使う**
ACアダプター(別売:DMW-AC8)を接続し、電源コンセントにつなぐと、バッテリーの消耗を気にせず使うことができます。ACアダプターを使用するには、DCカブラー(別売:DMW-DCC12)が必要です。

お知らせ

- DCカブラー装着時、DCカブラー扉が開いたため、防塵防滴構造ではなくなります。砂やほこり、水滴などが付着、侵入しないようにお気をつけください。使用後は、カブラー扉に異物が付着していないことを確認し、しっかりと閉めてください。
- ACアダプターおよびDCカブラーの取扱説明書をお読みください。

使い方

バッテリーグリップのダイヤルやボタンの操作方法はデジタルカメラ本体と同じです。
ご使用の際、お使いのデジタルカメラの取扱説明書もお読みください。

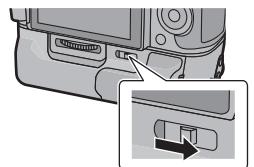
1 デジタルカメラの電源スイッチを[ON]にする

2 バッテリーグリップの操作ON/OFFスイッチを[ON]にする

- ダイヤルやボタンの操作を有効にします。
- デジタルカメラの電源をON/OFFすることはできません。

お知らせ

- デジタルカメラ側のグリップを握って構えた時、バッテリーグリップのボタンを押して誤操作する場合があります。その場合はバッテリーグリップの操作ON/OFFスイッチを[OFF]にしてください。



使用上のお願い

■ 本機について

- 周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない
 ● かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。
 ● ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。
 ● 以下のような場所で本機を使用または保管した場合、動作不良や故障の原因となりますので、避けてください。

- ・ 直射日光下や夏の海岸など
- ・ 高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
- ・ 振動のある場所
- ・ 火気のある場所
- ・ 自動車の中
- ・ 本機を落としたりぶつけたりして、強い振動やショックを与えないでください。
- ・ 使用前には動作を確認してください。
- ・ 本機には、デジタルカメラと電気的に接続される信号接点があります。デジタルカメラに取り付けていないときは、付属の接点端子キャップを付けて金属類(クリップなど)に接触させないようにしてください。

■ お手入れについて

- お手入れの際は、乾いた柔らかい布でふいてください
 ● 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、その後、乾いた布でふいてください。
 ● ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
 ● 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源 DC 8.4 V

撮影枚数	約 1000 枚 (バッテリー 2 個使用時) 約 500 枚 (バッテリー 1 個使用時)
寸法	約 幅 129.8 mm × 高さ 39.5 mm × 奥行き 63.3 mm (突起部除く)
質量	約 267 g (バッテリー含む)、約 190 g
防塵防滴	あり
推奨使用温度	0 ℃ ~ 40 ℃
許容相対湿度	10%RH ~ 80%RH

安全上のご注意(必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

危険 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

危険

バッテリーは、誤った使いかたをしない

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- 指定外のものは使わない
- 分解や加工(はんだづけなど)、加圧、加熱(電子レンジやオーブンなどで)しない
- 水などの液体や火の中へ入れたりしない
- 炎天下(特に真夏の車内)など、高温になるところに放置しない
- 端子部(+)に金属を接触させない
- バッテリーの液もれが起つたら、お買い上げの販売店にてお手入れください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にてお相談ください。

バッテリーは、専用のバッテリーチャージャーで充電する

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、バッテリーを外す

- 煙が出たり、異常ににおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 本体が破損した

そのまま使うと火災・故障の原因になります。

- 電源を切り、販売店にてお相談ください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

警告

分解、改造をしない

- 内部の点検や修理は、販売店にてお依頼ください。



分解禁止

接点端子キャップは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。



- 万一、飲み込んだら、すぐ医師にてお相談ください。

注意

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。



※ 血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

次のような場所に放置しない

火災や故障の原因になることがあります。



- 异常に温度が高くなるところ
(特に真夏の車内やボンネットの上など)
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ

次のときは、バッテリーを取り出す

バッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。



- 長期間使わないとき
- お手入れのとき

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かない

落下すると、けがや故障の原因になります。



- デジタルカメラの取扱説明書「安全上のご注意」も併せてお読みください。

廃棄時のお願い

—このマークがある場合は—

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークはEU域内のみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。



※

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—